

◆「LRRI ニュース」令和6年（2024年）2月号◆

●「エルリ塾 Part3」が成功裏に終了しました

10月5日から開始しました「エルリ塾 Part3」は「座学」と「通信添削」の2本立てとし、“自己研鑽による技術力向上”と“技術資格取得支援”を念頭に置き、多様で強力な講師陣を揃えて実施いたしましたが、第5回講義を1月25日に、令和6年2月8日令和6年2月8日に全行程を終了いたしました。

5	2024年1月25日（木） 【講座】(参加者プレゼン) 16：30～18：30	旬な用語【5】（防災・減災）	伴 講師
		総論（受験の意義と秘訣）	常田講師
		ディスカッション・最後に	安原講師
5a	2024年2月8日（木） ⑩面接実施	旬な用語【5】論述問題出題・(メ切 2/8)	(返送 2/15)
		受験テク⑨（地盤判定士）	岸田講師
		受験テク⑩（面接受け方）	丸山講師

2月8日の模擬面接では、春山俊仁氏（（賛助会員(株)福山コンサルタント登録メンバー）2023年度二次試験合格者（鋼構造・コンクリート））をお招きして被面接者として役割を演じていただきました。また、受講者のおひとりからは、補強土に関する設計のご経験をプレゼンしていただいたのちに、口頭説明の体験をしていただきました。

●「役員&会員だより」令和6年2月号をお届けしました

2月号は、岸田代表理事が執筆されました。タイトルは、「元旦の『能登半島地震』の発生で考えたこと」です。タイムリーな話題で、示唆に富む内容になっておりますのでご熟読ください。

●環境省地球環境推進費 S18 受託業務報告会を開催しました

令和4年度茨城大学からの受託業務（環境省地球環境推進研究費 S18 関連プロジェクト「気候変動適応策オプションの分類に関する調査業務」）の成果報告会を開催（オンライン）いたしました。使用しました資料は、「会員専用」ページに保存しておりますのでご覧ください。

●「第4回技術者講座」を計画中です(PDFを別途添付します)

例年に倣って今年も（一財）土木研究センターさまと共同主催のもとに、以下の要領で「第4回技術者講座」（『インフラ強靱化のための最近の技術』）を開催予定です。

+++++

1. 日時 令和6年5月15日（水）13:30～16:35 及び  
令和6年5月22日（水）13:30～16:50 計2回

2. 方 法 オンライン（Zoom 使用）
3. 主 催 （一財）土木研究センター（[www.pwrc.or.jp](http://www.pwrc.or.jp)）  
（一社）地域国土強靱化研究所（<https://lrri.or.jp>）
4. 共 催 地盤工学会関東支部（依頼中）
5. 後 援 土木学会関東支部茨城会  
（一社）茨城県建設コンサルタンツ協会

+++++

地盤工学会関東支部の共催を承認いただきましたら更新の後に、詳細を再度ご案内させていただきます。

●安原代表理事が地盤工学会中部支部で講演を行います

地盤工学会中部支部の要請で、きたる令和 6 年 3 月 14 日（木）に講演を行います。別紙にご案内を紹介しています。また、詳細は HP（<https://jgs-chubu.org/>）をご参照ください。

<ご案内>

---

セミナー部会講演会「気候変動と地盤工学」開催のご案内

---

<https://jgs-chubu.org/training/240314seminor/>

主催：公益社団法人 地盤工学会中部支部  
名城大学自然災害リスク軽減研究センター  
名城大学カーボンニュートラル研究推進機構  
名城大学技術士会

◆日時：令和6年3月14日（木） 15：30～17：00

◆場所：名城大学 天白キャンパス 研究実験棟 IV R4-101 教室

<https://www.meijo-u.ac.jp/about/campus/tempaku.html>

（地下鉄塩釜口1番出口から徒歩5分、研究実験棟II経由が最も便利です）

◆参加費：無料

◆定員：80名

◆演題：気候変動対応策の実情と地盤工学的貢献への期待

◆講演者：安原 一哉 茨城大学名誉教授（茨城大学地域地球環境共創機構（GLEC）勤務）、（一社）地域国土強靱化研究所（LRR）代表理事

◆概要：2006年から2014年の間、S4、S8と称する環境省の地球環境推進研究に課題代表者として従事した。また、2011年から2014年の間、IPCC（The Intergovernmental Panel on Climate Change）AR5（5<sup>th</sup> Assessment Report: 第5次評価報告書）におけるCh. 29: Small islands（第29章：小島嶼国）とTechnical Summary（TS：技術的要約）のRE（Review Editor: 査読編集者）を勤めた。最近になって、令和4年度（2022年度）に茨城大学の委託で日本における気候変動対応策の実情をレビューする機会を得た。

このような活動を通じて、土砂災害など、気候変動に起因すると思われる災害などには地盤工学が貢献する必要性と可能性があるにもかかわらず、地盤工学における多くの成果が気候変動対応策のような地球レベルの環境問題施策には反映されていないことに気付かされた。COP（Conference of Party）での政策の基礎となっているIPCCのARのGlossary（用語集）やIndex（索引）を見ても分かるように、地盤工学に関わるキーワードは、landslideなど一部のキーワードが散見されるだけでまとまったものは記述されていない。また、地盤災害（Geo-disaster）に関連する記述は全くない。

本講演は、気候変動の現状を踏まえた上で、(i)このような事情にある原因、(ii)これを打破するための方策を考察し、最後に、(iii)地盤工学的取り組みを推進していくための方策を提案する。

◆講演者プロフィール

安原 一哉 茨城大学 名誉教授 & (一社)地域国土強靱化研究所(LRRI) 代表理事

・1944年茨城県生まれ，1968年九州大学助手，1971年西日本工業大学講師，助教授，教授。  
1990年茨城大学教授，2010年茨城大学名誉教授，併せて，現在，同大学地球地域環境創成機構（GLEC）特命研究員，EPS 開発機構会長，（一財）茨城県建設管理センター評議員，水戸地方裁判所専門委員，（一社）茨城県建設コンサルタンツ協会技術顧問他。

・2010年-2014年 IPCC AR5 Review Editor，2019年から日越大学（Vietnam Japan University: VJU）の客員教授として，Climate Change Risk Management をベトナムの研究者と分担で講義している。

・専門は，軟弱地盤工学，地盤改良・補強，気候変動対応地盤工学，工学博士。

◆申込方法：

○参加希望者は下記申込フォームに必要事項をご記入いただき、お申し込みください。

[セミナー申込フォーム](#)

ご登録のメールアドレスに入力内容についての返信メールを自動送信いたしますので、内容をご確認下さい。

◆CPD ポイント、受講証明書、領収書の発行：

○OG-CPD ポイント数：1.5

○建設系 CPD 協議会加盟の団体所属の方で，ご所属団体の CPD 受講証明書書式が必要な場合は，ご所属先団体の書式に必要事項をご記入の上，当日ご持参ください。

○CPD 申請書・受講証明書は当方にて準備いたします。

○受講証明書の申請者情報欄ご記入の上、登録先の団体に申請ください。

◆問合せ先：公益社団法人 地盤工学会中部支部

〒460-0008 名古屋市中区栄二丁目 9 番 26 号ポーラビル 8F

電話: 052-222-3747 FAX: 052-222-3773

E-mail: jibanchu@jeans.ocn.ne.jp